

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎数学演習第二		
英文授業科目名	Elementary Exercise in Mathematics		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	濱野 哲子		
居室	P-205		

公開E-Mail	授業関連Webページ
thamano@fedu.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
(a) 主題：全学科1年次の必修科目、微分積分学第二と線形代数学第二のための留学生支援科目である。 (b) 達成瀬目標：日本語で行なわれる講義を十分理解することができ、日本語で書かれたテキストを容易に読むことができる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
基礎数学演習第一

<b>【教科書等】</b>
学科の数学講義の教科書・演習書等

<b>【授業内容とその進め方】</b>
(a) 授業内容 I. 微分積分学 1 偏微分 2 重積分 3 微分方程式 II. 線形代数

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

- 1 ベクトル空間
- 2 固有値と固有ベクトル
- 3 線形写像

(b) 授業の進め方：テキストの音読, 用語と内容の説明, 演習を中心に, 理解の程度を確認しながら授業を進める. この授業のための予習, 復習は必要としない. 演習問題の解法解説のためWebclassを活用する.

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：授業中に行なう演習と期末試験の結果を, 次のように総合評価する.

成績評価 = (50% × 演習) + (50% × 期末試験)

(b) 評価基準：以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする.

- (1) 概念を理解している.
- (2) テキストの演習問題を解くことができる.

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが, 事前にアポイントを取ることが望ましい. また, 理解できない点がでてきた時点で質問・相談することを望む.

### 【学生へのメッセージ】

日本語でおこなわれる授業になれるまで, 8ヵ月かかるといわれています. だんだんなれてきたと思いますが, あせらずに勉強しましょう.

### 【その他】